

不動産学会湯浅賞受賞！！

Winning the Yuasa Prize of JARES!!

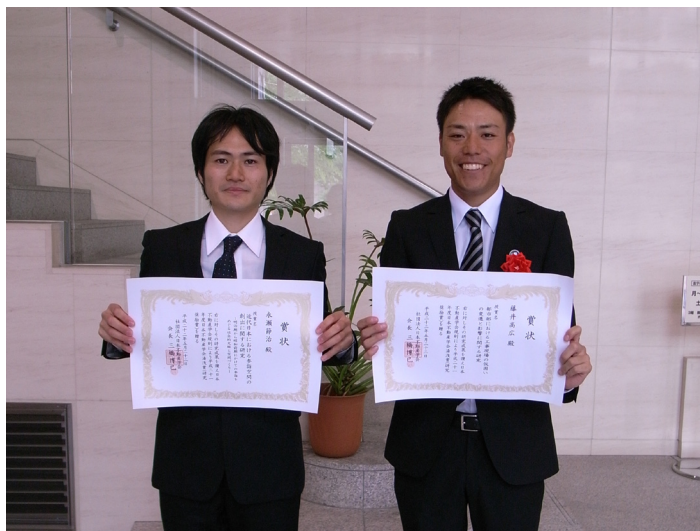
—受賞報告 続報—

—Another award-winning news—

text_abe

123号でお伝えした都市計画学会、不動産協会における表彰に続き、特任研究員の永瀬節治さん、研究室OBの藤井高広さんが揃って不動産学会湯浅賞（研究奨励賞）を受賞しました。

Congratulations!! Dr.Nagase (Designated Researcher) and Mr.Fujii (Lab's OB) are awarded the Yuasa (Research Encouragement) Prize by Japan Association for Real Estate Sciences.



▲賞状を手に笑顔の永瀬さん、藤井さん



▲他の受賞者の方々と壇上に並び緊張の面持ち

受賞者のコメント Comments from prize winners

「近代日本における参詣空間の創出に関する研究」 —明治期から昭和前期にかけての参詣をめぐる社会的文脈と空間づくり—

特任研究員 永瀬 節治
私が所属しております研究室は、まちづくりを通して地域に関わらせていただいておりますが、博士論文に関しては、歴史や都市計画史を研究させていただきまして、戦前の都市計画という枠組みの中でよいテーマはないかと考えていた中で、神社というテーマに至りました。神社というと、戦前、国家の宗教政策、観光という意味合いの強いものでした。地域の資源として参道などがどのように変化してきたかということの研究いたしました。私としては我流なテーマであると思っていたのですが、このような賞をいただきまして、感謝しております。ありがとうございました。

—永瀬さんの略歴—

2003年3月 東北大学工学部建築学科卒業
2005年9月 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻博士前期課程修了
修士(工学)
2009年9月 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了
(同年12月 博士(工学)取得)
2009年11月～東京大学大学院先端科学技術研究センター-特任研究員

「都市部における工事現場の 仮囲いの変遷と影響に関する研究」

研究室OB 藤井 高広
私は現在大成建設で働いております。修士論文は、工事現場の仮囲いという、都市においても不動産の分野においてもニッチなテーマではありますが、このようなテーマに対しても評価していただいた不動産学会の懐の深さに感謝申し上げます。
日本は、文化を作っていかなければならないと思っております。今、アニメなどが日本の文化として世界に発信されていますが、これからは建設現場や建設業が日本のひとつの文化として発信されるよう、現場監督という立場で、建設業に関わりながら、修士研究で扱った仮囲いへの興味という初心を忘れず、頑張っていきたいと思っております。

—藤井さんの略歴—

2007年3月 芝浦工業大学工学部建築工学科卒業
2008年4月 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修士課程修了
修士(工学)
2010年4月～ 大成建設株式会社

北沢先生を語る in Yokohama Talk about Urban Designer T.Kitazawa

アーバンデザイナー北沢猛を語る会 in ヨコハマに参加し、改めて先生の影響の大きさを感じました。

text_suzuki

6月12日(土)の午後、BankART Studio NYKにて「アーバンデザイナー北沢猛を語る会 in ヨコハマ」が行われました。会の名のごとく、第1部では5つのテーマに分かれて、参加者全員で北沢先生について語り合いました。続く第2部では、トークセッションが、第3部では懇親会が開かれました。

北沢先生と関わっていた方のお話を通して、今まで知らなかった先生の考えや行動に触れることが出来、まだまだ先生に教わっているんだなど、強く感じました。先生が様々な方に与えた影響の大きさを感じるとともに、これからも先生から多くのことを学び、努力していきたいと思いました。



▲参加者で北沢先生について語り合う



▲トークセッションの様子

日本家屋調査 in Australia Old Japanese House in Ingham

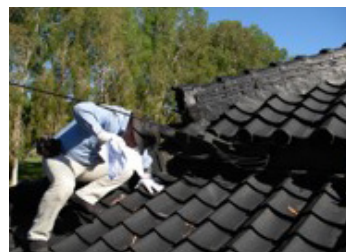
移築日本家屋の修復準備調査に参加した馬場さんのオーストラリア滞在記です。

D3 馬場 美彦

5月29日から30日にかけて、Queensland州遺産に選定された日本家屋の調査に行ってきた。Cairnsから車で3時間の小さな町Inghamにあるその住宅は、明治時代に神戸に住んでいたお雇い外国人の友人を訪ねた際に、その家が気に入り、日本から職人を呼び寄せ、同じ物を作らせたという日本家屋。元々1887年にBrisbaneに建てられたものを1962年に当地に解体移築したものでした。1日目は柱の位置と高さを徹底的に測量、2日目は雨漏りと鴨居が低くなっている原因を探るため屋根を調査。軒巴が特徴的であった。謎は尽きないが、調査結果を着に交流を深めてきました。今後の展開に乞うご期待！！



▲所有者 Markwell 夫妻と調査メンバー



▲屋根瓦を丹念に調査

プロジェクト報告

住民の方々との協同 Collaboration with Residents

初夏の陽気とともに各PJの活動も熱を帯びてきました！！イベント「光月工房」を実施した浅草PJ、今後に向けて活発な議論が交わされた田村PJの近況をご紹介します。

浅草 ASAKUSA-project プロジェクト

空間研 M1 尾瀬 敦裕

6月19日から20日にかけて毎年浅草の長國寺で行われる、あじさい祭りの日程に合わせて、イベント「光月工房」を行いました。このイベントは、多くの材木店が残っている光月町の特徴を活かすため、材木の紹介パネルの展示や木工体験を通して住民と材木店との距離を縮めることで、まち全体の一体感を高めていこうという目的のもとに行いました。



▲木工体験の様子

イベント当日は天候にも恵まれ、多くの方々にご参加いただき、特に子供達がとても楽しそうに木工をしている姿が印象的でした。今回のイベントは概ね成功だということができると思いますが、今後の継続的な発展に向けてのビジョンがまだ明確になっていません。今後の課題として考えていきたいです。

田村 TAMURA-project プロジェクト

M2 黒川 佑人



▲多数の出席者と活発な議論

昨年度の基本方針の提案を土台として、今年度のまちづくり実験を行うための公・民・学による「まちづくり実験実行委員会」の第一回目を6月19日(土)に開催しました。当日は、住民の方々と学生の間で議論が大きい盛り上がり、今年度のまちづくり実験へ向けたいいスタートがきれたと思います。

この委員会は、今年度のまちづくり実験を進める上での議論の場ではありますが、今後、住民の方々自らが、まちづくりを主体的に行えるような組織の基盤づくりの場にもなっています。そのため、今年度、僕らに関わる意味を考え、イベント屋にならずに本質的な意味を持つ「まちづくり」が出来るように頑張りたいと思います！！

Information

6月27日 佐原PJ回遊性向上実験@下新町
6月28～30日 鞆PJ現地調査
7月1日 2010年度第5回研究会議@141講義室
7月7～9日 田村PJ現地調査
7月8日 2010年度第6回研究会議@8階会議室

編集後記

芝尾 茉莉子

マガジン新編集メンバーとなりました芝尾です。マガジンの作成を通して、研究室のめまぐるしい動きを把握しつつ、初めて使うInDesignの使い方などマスターしたいです。毎号、研究室内でこんなにたくさん記事になる出来事があるなんて、すごいです……。マガジン編集メンバーの足を引っ張らないようにがんばろうと思います。よろしくをお願いします。